



各位

2026年2月24日

上場会社名 株式会社 鶴見製作所
代表者 代表取締役社長 辻本 治
(コード番号 6351 東証プライム市場)
問合せ先責任者 執行役員 人事総務部長 吉井 康富
(TEL 06-6911-2351)

富士丸産業株式会社の株式の取得(完全子会社化)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、富士丸産業株式会社の発行済株式の全てを取得し、完全子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式の取得の理由

富士丸産業株式会社は、大型水中ポンプのレンタル、仮設・常設排水設備工事及びポンプ整備を主業としております。近年、ゲリラ豪雨や線状降水帯の発生増加に伴い、内水氾濫対策や災害復旧対応の重要性が高まっており、排水設備に対する需要は拡大傾向にあります。これらの分野において、同社は豊富な設置工事実績を有し、緊急時にも迅速に対応できる体制を確立しております。また、自社で大型クレーン設備を保有し、大型ポンプの修理・分解整備・性能試験まで対応可能な体制を構築しており、レンタルから施工、修理・メンテナンスまでを一貫して提供することで、付加価値の高い事業基盤を形成しております。

当社はポンプ事業を中心に、“水と人とのやさしいふれあい”を経営理念として、中期3ヶ年経営計画「Transformation 2027」を展開しており、これからの100年に向かって経営基盤を更に強化し、当社グループ製品が社会インフラに対して必要不可欠なものであるという責任を十分に踏まえた上で、万全な体制で製品を供給し続けることを最重要の経営課題と位置づけております。当社の事業領域との親和性が極めて高く、更なる事業シナジー創出を狙えることから、富士丸産業株式会社の発行済株式の全てを取得し、完全子会社化することについて決議いたしました。

なお、本件は東京証券取引所の規則に定める適時開示基準に該当しませんが、有用な情報と判断したため、任意開示するものであります。

2. 異動する子会社(富士丸産業株式会社)の概要

(1) 名 称	富士丸産業株式会社			
(2) 所 在 地	愛知県海部郡飛島村大字梅之郷字中梅 59 番地			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤岡 稔丸			
(4) 事 業 内 容	土木重機械類及び電機器類の修理、販売、賃貸			
(5) 資 本 金	10 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1982 年5月7日			
(7) 大株主及び持株比率	株式取得の相手先の意向により、非開示としております。			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません		
	人的関係	該当事項はありません		
	取引関係	当社製品を販売しております		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2023 年2月期	2024 年2月期	2025 年2月期
	純 資 産	485 百万円	557 百万円	614 百万円
	総 資 産	1,166 百万円	1,325 百万円	1,661 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	24,289 円 94 銭	27,856 円 2 銭	30,723 円 43 銭
	当 期 純 利 益	70 百万円	71 百万円	57 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	3,537 円 33 銭	3,566 円 8 銭	2,867 円 40 銭

(注) 売上高、営業利益、経常利益は非開示としております。

3. 株式取得の相手先の概要

株式取得の相手先は個人であることから、詳細の開示は控えさせていただきます。なお、当該株主と当社との間に記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、関連当事者にも該当いたしません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数:0個、議決権所有割合:0%)
(2) 取 得 株 式 数	20,000 株 (議決権の数:20,000 個、議決権所有割合:100%)
(3) 異動後の所有株式数	20,000 株 (議決権の数:20,000 個、議決権所有割合:100%)

(注) 専門家のデュー・デリジェンス実施を踏まえ、公正妥当な金額にて取得する予定ですが、相手先の意向により取得価額は非開示とさせていただきます。

なお、当該取得価額は、直前連結会計年度の末日における連結純資産額及び直前事業年度の末日における純資産の額の 15%未満であり、開示基準には該当していません。

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2026 年2月24日
(2) 契約締結日	2026 年2月25日(予定)
(3) 株式譲渡実行日	2026 年3月5日(予定)

6. 今後の見通し

今回の株式取得による 2026 年3月期の当社連結業績への影響はありません。また、翌期以降の当社連結業績予想に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

(ご参考)



【本社工場及び新工場ミライオ外観】



【新工場ミライオ内観】



【中型ポンプ保管エリア】



【ツルミノクログ型水中ポンプ 350B637 型】



【台風被災に伴う二次災害防止用仮設ポンプ設備】



【常設ポンプのメンテナンスに伴う引上げ作業】

以上